

平成26年度 事業報告

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

【I】基本方針

余暇時間の増大、高齢化の進行など社会環境の変化は、人々の生活様式にも急激な変化をもたらし、国民の健康に関する意識の向上と共に、スポーツに寄せる関心は益々高まりを見せています。

このような情勢下、スポーツ科学の振興を目的とする当財団ではこの期待に応えるべく、改めて事業の重要性を認識し、事業活動の推進を図ってまいりました。

まず、健康の増進と体力向上及びスポーツに関連する学術研究の助成事業では、財団選定テーマによる研究委託並びに研究課題公募による研究助成を引き続き実施いたしました。

一方、公益財団法人日本体育協会への助成を行い、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するとともに、公益財団法人日本オリンピック委員会に対しても、オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化を目的として同様の助成を行いました。また、スポーツ科学の国際交流推進を目的として一般社団法人日本体力医学会へ助成を行いました。

なお、平成25年度の事業成果を広く関係者に公表するため、機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.35を発行いたしました。

【II】事業報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1)研究委託(3件 300万円)

学術委員会において審議の結果、下記3件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

①スーツの「着心地」を数値化する計測・評価法の開発と検証

信州大学

西松 豊典

②褐色脂肪組織と運動習慣との関係および褐色脂肪組織増加のための栄養介入

立命館大学

浜岡 隆文

③骨格筋に対する圧迫と運動パフォーマンスの関連性に関する統合的研究

鹿屋体育大学

吉武 康栄

2)自由課題研究（総額 900 万円）

全国にわたる 92 の大学または、その他の学校、研究機関より応募された 143 件の課題の中から学術委員会の審査の結果、下記 18 件に対し助成を行いました。

●優秀入選（各 50 万円）

- ①歩行型腰部柔らかダミーを用いた衣服圧測定方法の確立
東京都立産業技術研究センター 菅谷 紘子
- ②アスリートの体型研究－各種競技従事者に適合する最適なウェア作製を目指して－
文化学園大学 佐藤真理子
- ③食事時刻がヒトの生体リズムおよびエネルギー代謝調節に与える影響
北海道大学 山仲勇二郎
- ④脂質による消化管ホルモン分泌作用を活用した新たな筋グリコーゲン回復法の開発
東京大学 寺田 新
- ⑤筋損傷を伴わない伸張性筋力トレーニング方法の確立
鹿屋体育大学 前大 純朗
- ⑥バイオフィードバックトレーニングが脳血流分布に及ぼす影響
福井大学 高田 宗樹
- ⑦低強度血流制限下での筋力トレーニングが、血管機能に及ぼす影響
－血管内皮機能と動脈硬化指標の関連－
山梨県環境科学研究所 堀内 雅弘
- ⑧非運動時に血流制限を施行したレジスタンス運動の有効性の検証
北翔大学 沖田 孝一
- ⑨最大無酸素性作業能力の向上に関連する分子メカニズムの解明
－骨格筋発現タンパクの網羅的解析－
立命館大学 宮本 恵里
- ⑩防護服着用時の動作性を評価できる標準テスト方法の提案
九州大学 孫 秀英
- ⑪運動疲労の脳磁図研究
大阪市立大学 田中 雅彰
- ⑫アマチュアボクシングにおいて頭部に作用する衝撃の安全・非侵襲な直接計測
神戸大学 長野 明紀

- ⑬走運動時におけるハムストリングスの活動特性の部位差
～肉離れ発症メカニズム解明への新たなアプローチ
中京大学 渡邊 航平
- ⑭低酸素間欠的無呼吸が中心循環動態に与える影響
－睡眠時無呼吸症候群による心血管疾患発症機序の解明および予防法の構築－
筑波大学 今井 智子
- ⑮瞬発的な筋力発揮能力の向上を目的としたトレーニングが
姿勢制御機構に及ぼす影響
国立スポーツ科学センター 小林 雄志
- ⑯皮膚バリア保護的に働く弱酸性ポリエステルを利用した
化繊アレルギー原因物質の解明
高知大学 弘田 量二
- ⑰運動トレーニングが認知機能に及ぼす影響：脳循環動態の変化から探る
東洋大学 小河 繁彦
- ⑱運動意欲と食リズムのクロストーク
：摂食促進ホルモン・グレリンによる自発運動量制御機構の解明
久留米大学 田尻 祐司

○学術委員（順不同、敬称略）

佐藤 祐造	井上 真理	押田 芳治
梶原 莞爾	川原 貴	島崎 恒藏
下光 輝一	下村 吉治	田中 宏暁
田畑 泉	田村 照子	永富 良一
中島 利誠	西松 豊典	西村 太良
平田 耕造	廣田 孝子	福永 哲夫
藤本 繁夫	吉岡 利忠	

○助成金交付 平成 26 年 7 月

○研究成果報告書提出 平成 26 年 11 月 25 日

(2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、一般社団法人日本体力医学会への助成を行いました。

(3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250万円）

国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、公益財団法人日本体育協会に助成を行いました。

(4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250万円）

オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、公益財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。

(5)機関誌の発行

平成 25 年度の事業内容を公表するため第 35 回研究成果報告書を中心とする「デサントスポーツ科学」Vol.35 を本年 6 月に発行し広く研究機関関係者に公表致しました。

以上

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,587,524	19,975,406	612,118
流動資産合計	20,587,524	19,975,406	612,118
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	2,965,892,556	1,842,027,316	1,123,865,240
基本財産合計	2,965,892,556	1,842,027,316	1,123,865,240
固定資産合計	2,965,892,556	1,842,027,316	1,123,865,240
資産合計	2,986,480,080	1,862,002,722	1,124,477,358
II 負債の部	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	2,965,892,556	1,842,027,316	1,123,865,240
指定正味財産合計	2,965,892,556	1,842,027,316	1,123,865,240
(うち基本財産への充当額)	(2,965,892,556)	(1,842,027,316)	(173,875,272)
2. 一般正味財産	20,587,524	19,975,406	612,118
正味財産合計	2,986,480,080	1,862,002,722	1,124,477,358
負債及び正味財産合計	2,986,480,080	1,862,002,722	1,124,477,358

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	14,461,500	15,579,582	△ 1,118,082
基本財産受取配当金	16,527,430	12,421,944	4,105,486
基本財産運用益計	30,988,930	28,001,526	2,987,404
② 受取寄附金			
受取寄附金		3,000,000	△ 3,000,000
受取寄附金計	0	3,000,000	△ 3,000,000
③ 雑収益			
受取利息	4,607	4,397	210
雑収益	12,115	7,717	4,398
雑収益計	16,722	12,114	4,608
経常収益計	31,005,652	31,013,640	△ 7,988
(2) 経常費用			
① 事業費			
研究助成費	12,921,000	10,952,000	1,969,000
支払寄附金	6,000,000	6,000,000	0
機関誌発行費	5,178,791	5,205,497	△ 26,706
事業費計	24,099,791	22,157,497	1,942,294
② 管理費			
支払報酬	1,623,994	2,373,456	△ 749,462
会議費	1,446,126	1,447,477	△ 1,351
旅費交通費	1,719,636	1,381,750	337,886
資料収集費	1,283,738	725,000	558,738
通信運搬費	128,097	95,150	32,947
消耗品費	1,694		1,694
雑費	90,458	151,985	△ 61,527
管理費計	6,293,743	6,174,818	118,925
経常費用計	30,393,534	28,332,315	2,061,219
当期経常増減額	612,118	2,681,325	△ 2,069,207
当期一般正味財産増減額	612,118	2,681,325	△ 2,069,207
一般正味財産期首残高	19,975,406	17,294,081	2,681,325
一般正味財産期末残高	20,587,524	19,975,406	612,118
II 指定正味財産増減の部			
固定資産受贈益		72,500,000	△ 72,500,000
投資有価証券受贈益		72,500,000	△ 72,500,000
基本財産評価益	1,123,865,240	289,746,483	834,118,757
当期指定正味財産増減額	1,123,865,240	362,246,483	761,618,757
指定正味財産期首残高	1,842,027,316	1,479,780,833	362,246,483
指定正味財産期末残高	2,965,892,556	1,842,027,316	1,123,865,240
III 正味財産期末残高	2,986,480,080	1,862,002,722	1,124,477,358

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	13,958,036	503,464	14,461,500
基本財産受取配当金	16,527,430		16,527,430
基本財産運用益計	30,485,466	503,464	30,988,930
② 受取寄附金			
受取寄附金			0
受取寄附金計	0	0	0
③ 雑収益			
受取利息		4,607	4,607
雑収益		12,115	12,115
雑収益計		16,722	16,722
経常収益計	30,485,466	520,186	31,005,652
(2) 経常費用			
① 事業費			
研究助成費	12,921,000		12,921,000
支払寄附金	6,000,000		6,000,000
機関誌発行費	5,178,791		5,178,791
事業費計	24,099,791		24,099,791
② 管理費			
支払報酬	1,461,595	162,399	1,623,994
会議費	1,333,414	112,712	1,446,126
旅費交通費	1,678,272	41,364	1,719,636
資料収集費	1,211,238	72,500	1,283,738
通信運搬費	87,742	40,355	128,097
消耗品費		1,694	1,694
雑費	1,296	89,162	90,458
管理費計	5,773,557	520,186	6,293,743
経常費用計	29,873,348	520,186	30,393,534
当期経常増減額	612,118	0	612,118
当期一般正味財産増減額	612,118	0	612,118
一般正味財産期首残高			19,975,406
一般正味財産期末残高			20,587,524
II 指定正味財産増減の部			
固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益			
基本財産評価益			1,123,865,240
当期指定正味財産増減額			1,123,865,240
指定正味財産期首残高			1,842,027,316
指定正味財産期末残高			2,965,892,556
III 正味財産期末残高			2,986,480,080

注) 共通費用は公益目的事業会計90%、法人会計10%にて配賦している。

財 産 目 録
平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	使用目的等	金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	小口現金	28,694
普通預金 三井住友銀行船場支店	運転資金として使用している。	15,403,157
普通預金 北國銀行大阪支店	運転資金として使用している。	5,155,673
現金預金合計		20,587,524
流動資産合計		20,587,524
2. 固定資産		
基本財産		
投資有価証券 ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス（ユーロ債）	公益目的保有財産であり、運用益を主に公益目的事業の財源として使用している。	100,000,000
ロイズバンク（ユーロ円債）	同上	100,000,000
シルフリミテッド（ユーロ債）	同上	100,000,000
オーストラリア・COMMONWEALTHS銀行（ユーロ債）	同上	100,000,000
ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス（ユーロ債）	同上	100,000,000
株式会社デサント株式1,652,743株(時価1,492円)	同上	2,465,892,556
基本財産合計		2,965,892,556
固定資産合計		2,965,892,556
資産合計		2,986,480,080
II 負債の部		
負債合計		0
正味財産		2,986,480,080

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券については、総平均法による原価法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,842,027,316	1,123,865,240		2,965,892,556
合計	1,842,027,316	1,123,865,240	0	2,965,892,556

(注) 1. 投資有価証券の増加額はデサント株式の期末時価評価による評価差額であります。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	2,965,892,556	2,965,892,556	0	0
合計	2,965,892,556	2,965,892,556	0	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、評価額及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	評価額	評価損益
投資有価証券			
ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス (ユーロ債)	100,000,000	107,690,000	7,690,000
ロイズバンク (ユーロ円債)	100,000,000	103,170,000	3,170,000
シルフリミテッド (ユーロ円債)	100,000,000	109,370,000	9,370,000
オーストラリア・コモンウェルス銀行 (ユーロ債)	100,000,000	100,460,000	460,000
ノムラ・ヨーロッパ・ファイナンス (ユーロ債)	100,000,000	98,910,000	△ 1,090,000
合計	500,000,000	519,600,000	19,600,000

監査報告書

公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団
理事長 石本 和之 殿

平成 27年 5月 12日

公益財団法人 石本記念

デサントスポーツ科学振興財団

監事 篠原 祥哲

監事 高木 茂太市



私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告書等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。